

「秋のミニオープンキャンパス」もっと知る「宮教大の魅力」を開催



教育フォーラム

平成二十八年十月二日(日)に「秋のミニオープンキャンパス」を開催しました。これは、高校生や保護者の方々に、教員という職業の魅力や本学の特色、受験に関する情報などを詳しくお伝えするイベントです。

当日は天候にも恵まれ、宮城県を始めとする東北六県、さらには関東地方など遠方からも、あわせて二百二十六名の来場者があり、大変盛況でした。

イベントの目玉である「教育フォーラム」では、本学卒業生で現在は小・中・特別支援学校にて勤務している現職の教員三名が自らの教職体験や学生生活などについて語り、その後、パネルセッション形式で、来場者からの質問に答えました。教員の仕事の意義や高校生活、大学受験のことなど、教員という仕事への関心の高さを示す多くの質問が出され、パネリストである現職教員の皆さんも、丁寧かつ熱のこもった返答で応じました。

続いて、大学概要説明、学生によるキャンパス

ツアー、本学学長・副学長との懇談会が行われました。このほか、入試や学生生活の相談コーナー、各講座の説明・相談コーナーが設けられました。参加者からは「現職教員のお話が大変素晴らしかった」「この大学で学びたいと強く思った」などの感想が寄せられ、好評でした。



学長・副学長との懇談会



相談コーナー

第四十五回大学祭を終えて

平成二十八年十月二十九日(土)、三十日(日)の二日間にわたり、第四十五回宮城教育大学大学祭が開催されました。「♡ 宮教 ♪ みんなをつなぐKSK♪」というテーマの下、実行委員一丸となって大学祭の準備、運営を行いました。KSKというのは「感謝の気持ち」をアルファベットで略して表したものです。大学祭で関

わる全ての人に感謝の気持ちを持って接する、そのことを念頭に置いて活動に取り組んできました。

私たちの大学祭は、規模こそ小さいですが、地域の方々や、小さい子どもから御年配の方まで、様々な方と関わることができることが強みです。来年度以降は、その強みをいかしつつ、大学祭をもっと盛り上げていきたいと思えます。

大学祭を開催する上で、様々な人の支えや協力がありました。そして、その支えや協力があつたからこそ、成功させることができました。関わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。この感謝の気持ちを忘れず、来年度の大学祭に向け、また活動に取り組んでいきます。今後とも、宮城教育大学大学祭をよろしく願いたします。

第四十五回大学祭実行委員長
数学教育専攻 三年 中鉢 健太



中庭ステージにて発表を行う、アカペラサークル「奏」。会場は大いに盛り上がった。



昨年に引き続き、人気があった出店。特徴的なアピールと美味しいケバブが話題となった。



英語教育強化地域拠点事業 公開研究会を実施



研究協議会の様子

平成二十八年十一月十八日(金)に標記事業の公開研究会を本学附属小学校・中学校を会場に実施しました。三年計画の二年目に当たる今年度は、初年度に設定した小中高を通じて一貫した学習到達目標に従い各学校において実践してきた成果の一端が公開され、県内外から約二〇〇名の参加を得て行われました。

本事業は、本学附属小学校・附属中学校・宮城県仙台第二高等学校・宮城第一高等学校の四校を研究指定校として行われており、これまであまり連携が図られてこなかった、小中高の各学校種間のつながりを重視した研究開発が本学英語教育講座の指導の下に進められています。

当日は午前中に小学校の授業が五本、中学校の授業が一本、高校の実践紹介が二本行われた後、午後からは各学校の授業担当者による研究協議会が行われ、来場者からは、「公立学校の現状からかけ離れておらず他の学校でもできそうと思える内容であるところが良い」、「他校種の指導について興味を持つ教員が多いのでとても参考になった」、あるいは「小中連携は他でも見られるが大学を見通して高校との協力の下

で実践ができていることに意義を感じる」など肯定的な意見が多く見られました。
また筑波大学大学院の卯城祐司教授からは「コミュニケーション能力を高めるバトンの渡し方」外国語活動から中高英語科へ」と題した特別講演をいただき、外国語活動や英語教育に求められていることについて、ユーモアを交えたお話を聞いた参加者からは「明日への力が湧いた」などの感想が寄せられ、公開研究会は盛会裏に終了しました。



校庭で行われた低学年の授業



英語って楽しいな

「いじめ防止研修会」を開催

平成二十八年十二月二日(金)、いじめ問題改善のために専門的な知見をいかして広く社会と連携し、現職の教員などを対象にこれまでより一歩進んだ支援を行うことを目的として、「いじめ防止研修会」を岩手県盛岡市において開催しました。

本研修会は、宮城教育大学、上越教育大学、鳴門教育大学、福岡教育大学の四大学が立ち上げた「BPPプロジェクト(いじめ防止支援プロ

ジェクト)」の一環であるとともに、東北地区の教員養成を担う国立大学の連携組織「東北教職高度化プラットフォーム」の事業の一つとして、昨年度の仙台市での開催に引き続き、今年度は岩手大学との共催で開催したものです。

東北地方を対象エリアとして開催された今回は、本学の見上一幸学長の主催者挨拶、鳴門教育大学佐古秀一理事・副学長の趣旨説明の後、文部科学省初等中等教育局児童生徒課の坪田知広課長による基調講演「いじめの問題に関する取組と現状」、上越教育大学の高橋知己准教授による講演「事例に基づくいじめの形態と学校対応の分析」がそれぞれ行われ、さらに、岩手県内小中学校の教員によるいじめ防止に向けた実践事例報告が行われました。参加者は、坪田課長や高橋准教授の講演に真剣な眼差しで聞き入り、しばしうなずく姿も見受けられました。

当日は、東北地区の全県から教育委員会・学校関係者、学生など、約二〇〇名の参加者が集まり、大盛況の研修会となりました。参加者アンケートには「今後の仕事の励ましになる」、「現場の教員に今すぐにも伝えたい」、「BPPプロジェクト

の今後の成果を心待ちにしている」などの声が寄せられ、参加者にとって有意義な研修会となりました。



講演する坪田課長

学生の活躍

- **体操部** 第48回東北・北海道学生体操競技選手権大会(平成28年12月)
○女子団体 第3位

- **陸上競技部** 第45回東北学生陸上競技選手権大会(平成28年10月)
○男子走幅跳 第1位 我妻 哲(保健体育専攻3年)

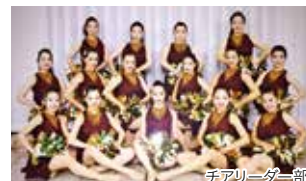
- **チアリーダー部** 第16回全日本チアダンス選手権大会・
第14回全日本学生チアダンス選手権大会
東北予選大会(平成28年10月)
○Cheer Dance部門大学生編成 第1位

- **女子ソフトボール部** 第30回宮城県ソフトボール総合選手権大会1部(平成28年11月)
○第1位

- **女子バレーボール部** 第49回東北バレーボール大学男女南リーグ戦
優勝(平成28年10月)
○優秀選手賞 南波 瑞希(体育・健康コース3年)



体操部



チアリーダー部



女子バレーボール部

訃報 菅野仁先生を偲んで



社会科教育講座 主任教授
松岡 尚敏

社会科教育講座の菅野仁先生が去る平成28年9月29日にご逝去されました。享年56歳でした。12月11日には「お別れの会」が開催され、大学関係者、菅野ゼミ卒業生の他にも多くの方々が参集され、先生との最後の別れの機会をもちました。

菅野先生は東北大学大学院文学研究科社会学専攻の博士課程を満期退学された後、東北大学文学部助手、東北女子大学家政学部専任講師、青森公立大学経営経済学部助教授を歴任され、平成8年10月に本学助教授に赴任、平成18年4月に教授に昇任されました。また、平成28年4月からは本学の副学長(学務担当)を兼任されていました。

『ジメル・つながりの哲学』『友だち幻想一人と人の「つながり」を考える』をはじめとして数多くの著書を残されるとともに、古典社会学の現代的な読み直しをベースとし、「自分の問題」として<社会>について考える知的技法の追究」をテーマとして考察を続けられた菅野先生の教育研究活動は、本学の学生教育のみならず、大学内外においても高く評価されていました。

ご遺族の方々に哀悼の意を表すとともに、菅野仁先生のご冥福をお祈りいたします。

訃報 大村巖特任教授を追悼する



総務担当理事・副学長
石澤 公明

大村巖氏は、本学が「地(知)の拠点事業」(COC事業)として「宮城協働モデルによる次世代型教育の開発・普及」の採択を受けた直後、平成25年

11月に事業担当特任教授に就任されました。大村氏は、昭和34年に明治大学政治経済学部政治学科卒業後、コンピュータ関連の出版関連会社の設立に携わられ、ICT分野で幅広い人脈を形成されました。その代表的な会社にビー・エヌ・エヌがあります。また、文部科学省の「情報教育指導向上支援事業」の技術審査専門員として、情報教育分野でも活躍されていました。

本学のCOC事業では、生涯学び続ける教師(イノベティブ・ティーチャー)を養成・育成するため、教育委員会や企業と協働した教員養成モデルの構築を目指し、大村氏はその牽引役でした。企業だけでなく宮城県及び仙台市教育委員会との協働作業で、大村氏はそれまで培われた交渉能力を遺憾無く発揮され、教育情報を交換するツールであるCIT(Cloud for Innovative Teaching)システムの構築に大きく貢献されました。ところが、昨年12月中旬、脳内出血のため急逝されました。大村氏に代わる人材を見出すことは難しく、宮城教育大学にとって極めて大きな損失となっています。

大村氏と共に昨年9月に受けたCOC事業評価の結果が今般通知され、事業継続となったことをご報告し、心からご冥福をお祈りいたします。

宮教大の今後の予定

4月5日 入学式

8月3日(予定) オープンキャンパス

宮城教育大学「奨学寄附金」への御寄附のお願い

奨学寄附金とは、本学における教育や研究に対して、企業や個人の皆様から資金面で御支援いただく寄附金制度です。教育、学術研究のために、有効に活用させていただきます。なお、大学に御寄附いただいた奨学寄附金には、税制上の優遇措置があります。御協力をどうぞよろしくお願いいたします。詳細は、本学寄附金ホームページを御覧ください。

宮教大寄附金

検索

宮城教育大学Facebook、
Twitter、YouTubeも
是非御覧ください!

